



【円と人民元の直接取引が開始！】

丸松物産株式会社

6月1日より、日本円と中国の人民元の直接取引が東京市場と上海市場で開始されました。これまで、米ドルで介してきた取引が主流でありましたが、この直接取引が可能になった事で、為替手数料の削減が期待されます。弊社と致しましては、今後の展開に注目し、お取引先様にメリットある価格の商品提供を目指すべく、現在、検討中であります。

【中国情報 其の壱】

(1) ぜんまい

2～4月の低温の影響で、安徽省産ぜんまいの生産は、例年より約2週間遅れの4月20日に開始され、その収穫量は、例年並みに落ち着いたとの事であります。その一方、東北三省(遼寧省、吉林省、黒竜江省)産が、5月末から6月末の生産の為、その収穫量の結果によって、全体の価格が最終的に決まる見込みです。

(2) 山セリ

5月20日頃より、収穫が始まっており、主な産地である吉林省では、天候が良好である為、その生産量は昨年より多くなるものと予想されています。

(3) わらび

主産地である黒竜江省の鶏西地区では、昨年11月から50年ぶりの干ばつに見舞われており、一度だけ降雪がありましたが、その影響は、十万人以上の住民の飲用水が不足するという大きな問題にまで発展しています。このまま干ばつが続くと、わらびの大幅減産は避けられない見通しです。

(4) チェリー【※追加速報】

開花等は4月中旬まで順調でしたが、6月8日の現地最新情報によると、長期的な低温・多雨の影響で、栽培被害が顕著となってきており、大幅な減産は避けられない状況となっている模様です。

【中国情報 其の弐】

春先での気候が不安定であった為、野菜の価格が3月から高騰している。中でも白菜の価格は、最高値を更新しており、5月における一玉の価格は、豚肉750gと同等の価格となった。また他の野菜についても、その値上げ率は2倍以上に達しており、このまま中国政府が適切な政策を打ち出さなければ、CPI(消費者物価指数)は下がらず、インフレに拍車をかける事になるだろうと懸念される。

※台湾ニュース(中時電子報 2012年5月7日より一部抜粋)

【お奨め商品情報】

 <p>※写真1kgサイズ</p>	商品名	珍竹林 (ちんちくりん)	 <p>調理例(珍竹林と鶏肉、きゅうりを和えたもの)</p>
	商品特徴	筍千切りをピリ辛なごま油仕立てにしています。規格は140g×40、500g×24、1kg×16がございます。	
	主要原材料	たけのこ、唐辛子、ごま油	
	賞味期限	製造年月日より6ヶ月	
	使用上の注意	開封後は5℃以下で冷蔵保存し、3日以内にお召し上がり下さい。	

以上